

配本を待つ「おはなしのたからばこ」。市内全小・中学校全クラスに届けられます。



ボランティアによるブックスタートの様子。「一緒に絵本を楽しむ体験」を赤ちゃんと保護者に届けます。



す。図書館では、子ども達がいっでも本を手にとれる環境を整えるため、乳幼児健診会

場での「ブックスタート」や、小・中学校への学級巡回文庫「おはなしのたからばこ」の配本、園や学校でのおはなし会やブックトークを行っています。さらに子ども達が本とふれあえる機会を数多く設けるため、図書館内でも赤ちゃんの頃から楽しめるおはなし会や、季節ごとに様々な行事を開催しています。このように、子ども達が読書を身近に感じ、図書館に親しみをもってもらうことで、大人も気楽に来館できる図書館をめざしています。「図書館の充実度がそのま

虎姫両館で司書を務める下司満里子副参事。こうした図書館の取組みを進めていくにあたり、欠くことができないのがボランティアの存在です。図書館設立当初から、絵本の読み聞かせなどをを行うおはなしボランティアが活躍。「身近な大人たち」によるおはなし会は親しみやすく、子ども達が図書館にやって来るきっかけづくりを担っていました。加えて平成18年度から、返却作業や資料整理、本の修理など様々な業務をサポートする「業務ボランティア」が県内で初



「こんなことを知りたいんだけど」・・・図書館では、今日も人と人のつながりが生まれています。



神照幼稚園でのおはなし会の様子

色鮮やかな絵本や大型絵本、紙芝居など、目の前に広がるおはなしの世界に子ども達は夢中。楽しそうに笑い声をあげながら、とびきりの笑顔を見せてくれます。

現在市内にある図書館は6館。全体の蔵書数は96万3千670冊、1日平均およそ1000人が訪れます。図書やCDの貸出はもちろんのこと、調べ物を手伝う「レファレンスサービス」や、しょうがいのある人への郵送貸出・対面朗読も行っています。また、読み聞かせや音訳ボランティアなど各種養成講座もあります。貸出・返却は6館だけでなく、3か所ある公民館内図書室（木之本・余呉・西浅井）のどこでも自由にできますし、図書のインターネット予約や検索、リクエストもできます。特に現在、「けやきっこプロジェクト」として子どもの



利用者からの質問と司書からの回答をまとめた「レファレンス通信」。カウンターにありますので、調べ物の参考にしてください。

図書館

本を通して人をつなぐ

読書活動の推進にも力を入れています。子どもにとって読書は「こころ」と「ことば」を育むために欠かせないものの一つで